

# 第3期基本計画の意見を募集

市では、総合計画「NARIITAみらいプラン」第3期基本計画の策定を進めています。市民の皆さんの意見を生かした計画とするため、パブリックコメントを実施して、素案に対する意見を募集します。



ニュータウン地区から成田駅方面を望む

## 総合計画とは

市がまちづくりを進めていく上での指針となる中長期的な計画で、あらゆる計画の最上位に位置付けられます。

現在、市では総合計画「NARIITAみらいプラン」に掲げている「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港 まちなりた」という将来都市像を目指し「若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり」「医療・福祉の充実したまちづくり」「空港と共に発展するまちづくり」の3つの方向性を掲げ、未来を見据えたまちづくりを推進しています。

## プランの構造と計画期間

NARIITAみらいプランは、平成28年度～令和9年度までの12年間を計画期間としています。社会情勢の変化などに対応できるように、12年間を3期の「基本計画」に分割して、4年ごとに見直すこととしています(図1)。

計画期間の8年目に当たる今年度は、来年度以降の第3期基本計画の策定を進めています。

## 計画策定過程での市民参画

計画の策定にあたっては、市民の皆さんの声を反映するため、積極的な市民参画を図りました。

令和4年10～11月には、15歳以上の市民5,000人を対象に、市の施策に対する満足度や今後力を入れるべきと考える施策などについて、市民意識調査を行いました。

また、4年10月には、国際医療福祉大学の学生を対象に、4年12月には空港関連企業の若手社員を対象に市民ワークショップを開催し、これからの成田について意見を伺いました(5ページ)。

そのほか、5年4月には市の職員を対象に、カーボンニュートラルや環境配慮に関する知識や考えを深めることを目的としたワークショップを実施しました。

## パブリックコメントを実施

市では、これらの取り組みを通じて寄せられた意見を参考に、計画の素案を作成しました。さらに多くの意見を反映させるため、この素案を公表して意見を募集します。

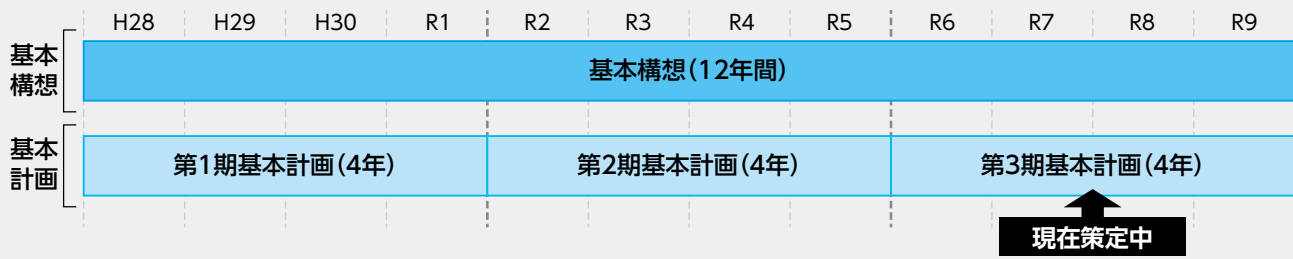
閲覧場所▶▶企画政策課(市役所3階)、行政資料室(市役所1階)、下総・大栄支所、各公民館、市立図書館、保健福祉館、もりんぴあこづつ、二里塚コミュニティセンター、赤坂ふれあいセンター、市ホームページ(<https://www.city.naria.chiba.jp/snisei/page000100.html>)

意見の提出方法▶▶10月15日(日)当日消印有効▶▶までに閲覧場所にある意見提出書を直接・郵送・FAX・Eメールのいずれかで企画政策課(T2866・8588 5花崎町760 FAX24・1006 Eメールkkikaku@city.naritachiba.jp)へ。ちば電子申請サービス([https://s-kanfan.jp/city-naria-chiba-u/offer/offerList\\_initDisplay.action](https://s-kanfan.jp/city-naria-chiba-u/offer/offerList_initDisplay.action))からも提出できます

結果の公表▶▶市の考えと併せて市ホームページなどで掲載

※くわしくは企画政策課(☎20・1500)へ。

図1 NARITAみらいプランの構造と計画期間



#### 基本構想(12年間)

市の将来都市像やまちづくりの基本指針を示したものです。12年間で実現を目指す「将来都市像」や、その基本的な考え方である「まちづくりの基本姿勢」などで構成しています。

#### 基本計画(4年ごとに第1期・第2期・第3期として策定)

基本構想に掲げる将来都市像を達成するため、施策ごとに「目指す姿」や計画期間である「4年間の取り組み方針」、到達すべき目標としての「まちづくり指標」、課題解決に向けた取り組み方針としての「施策の方向」などを示したものです。

## 若い世代の意見を引き出す

# 市民ワークショップ

市のまちづくりに対する、若い世代の意見や要望を取り入れることを目的にワークショップを開催しました。参加者から出された主な意見は次の通りです。

### 国際医療福祉大学ワークショップ

留学生グループと日本人学生グループの2班に分かれて「若者が住みたくなるまち」「若者が訪れたくなるまち」「若者が働きたくなるまち」「若者が子育てしたくなるまち」の4つのテーマから、本市が特に力を入れた方がよいテーマを1つ選んで政策提言を行いました。

#### 留学生グループの政策提言

「若者が訪れたくなるまち」となるためには、成田山新勝寺以外にも、さまざまな観光地を作る必要がある。

**理由**＝成田市といえば何かを話し合った際に、成田空港と成田山新勝寺以外に目玉となる観光地がないという意見が出た。外国人はSNSで家族や友人とさまざまなことを共有しているので、市内に観光地がたくさんあれば、若い外国人が訪れたくなるまちになると考えた

#### 日本人学生グループの政策提言

「若者が住みたくなるまち」となるためには、娯楽施設や生活必需品の買い物ができる場所を駅前に整備する必要がある。

**理由**＝娯楽施設が駅前に増えると、若者に魅力のあるまちになると思う。また、成田駅の周辺にスーパーがないため不便を感じるがよくある。そのため、娯楽施設やスーパーができれば、若者が住みたくなるまちになると考えた

### 空港事業者ワークショップ

「若者・子育て世代に魅力あるまち」とはどのようなまちなのかというテーマで、日本航空(株)・全日本空輸(株)・成田国際空港(株)の若手社員による話し合いを行いました。

#### 主な意見

- 新鮮な農水産物が買える道の駅や特徴のある公園など、誘客施設が整備されている
- カーシェアリングなどの多様な移動手段が充実している
- 国際交流が盛んである
- 国道51号の交通渋滞が緩和されるなど、インフラ整備が行われている
- 住宅を新築する時に支給される補助金がある
- 健康や運動に対して補助金が出る
- テレワークできる施設が整備されている



意見を付箋に書き出して議論する